

高知県東部広域地域公共交通網形成計画 (素案)

【概要版】

平成 30 年 12 月

高知県東部広域地域公共交通協議会

1. 計画の狙い

高知県中東部地域に位置する11市町村（室戸市、安芸市、南国市、香南市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村）においては、広域のかつ幹線的な公共交通として、第3セクターの土佐くろしお鉄道が運行する南国市と奈半利町を結ぶ鉄道（ごめん・なはり線）や、鉄道に平行・接続する形で運行されている高知東部交通の幹線バス（3路線）がある。加えて、それらの幹線的な公共交通に接続する支線的な公共交通として、沿線市町村によるコミュニティバス等が運行されている。

これらの公共交通機関は、地域住民の日常生活を支える基幹的な移動手段としてだけでなく、地域の活性化の大切な要素の一つである「ヒトの流動」を維持・活性化させるために重要な資源となっているが、近年は、沿線人口の減少や自動車専用道路の延伸等により利用者の減少が続いており、今後もさらなる自動車専用道路の延伸等により、経営環境は厳しさを増すことが想定される。

そのため、鉄道や路線バス等の広域のかつ幹線的な公共交通及びそれに接続する支線的な公共交通（移動手段）について、将来にわたって持続可能なものにするを目的として、本計画を策定する。

2. 対象地域

本計画の対象地域は、下図に示す東部広域地域11市町村（室戸市、安芸市、南国市、香南市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村）である。

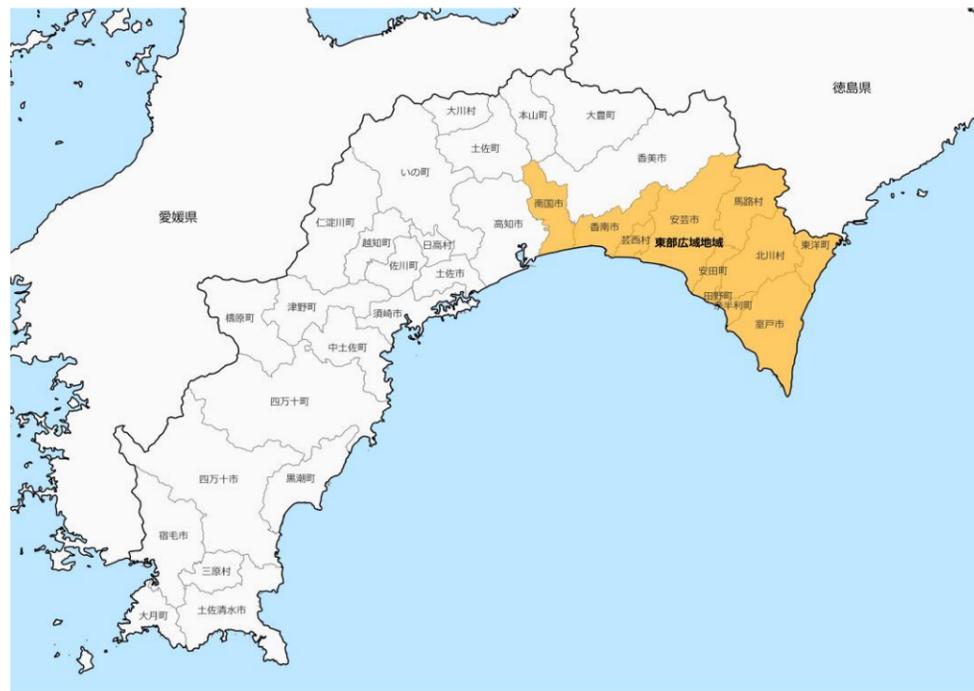


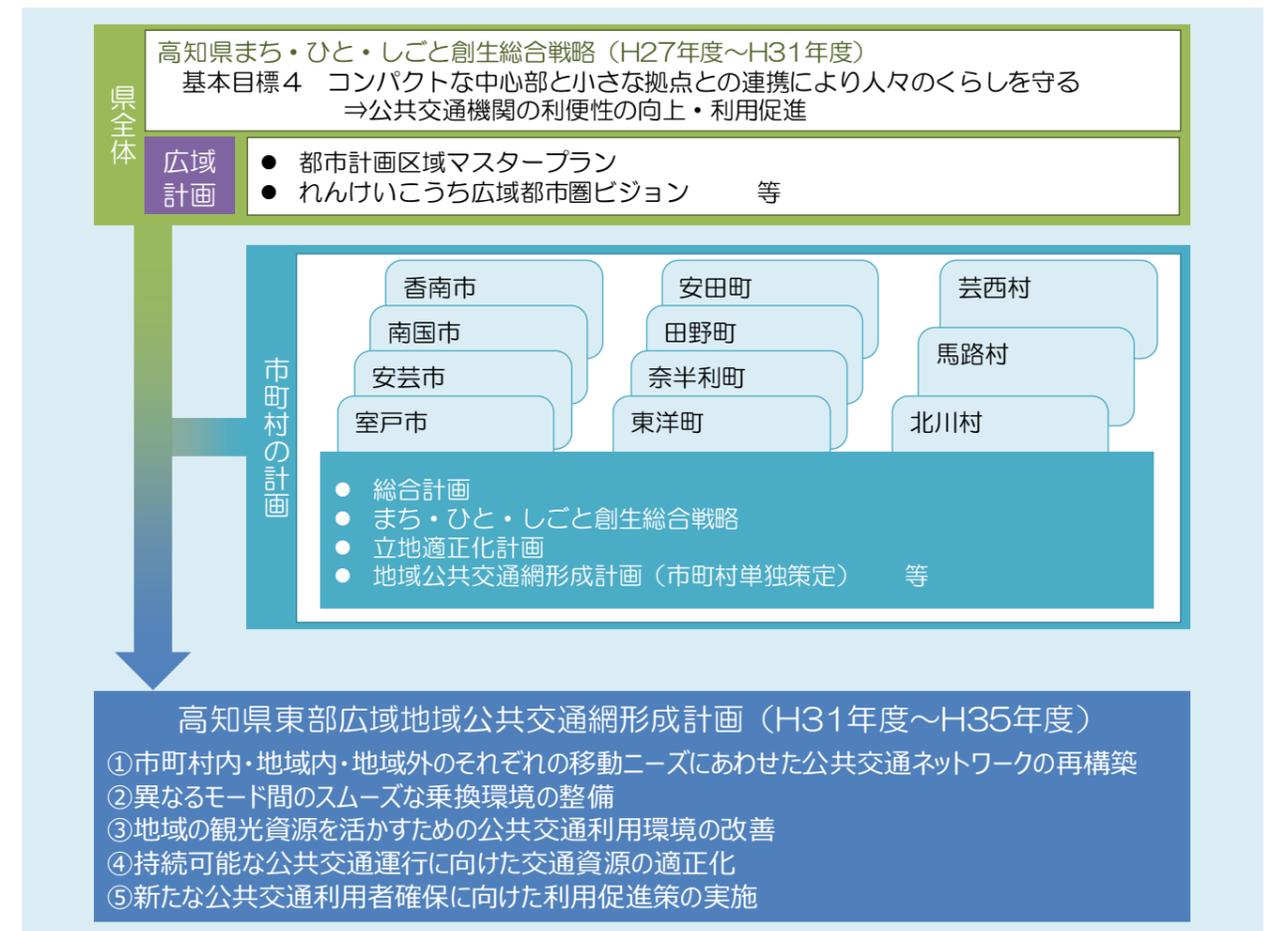
図 2-1 本計画の対象地域

3. 計画期間

平成31年4月～平成36年3月までの5年間を計画期間とする。

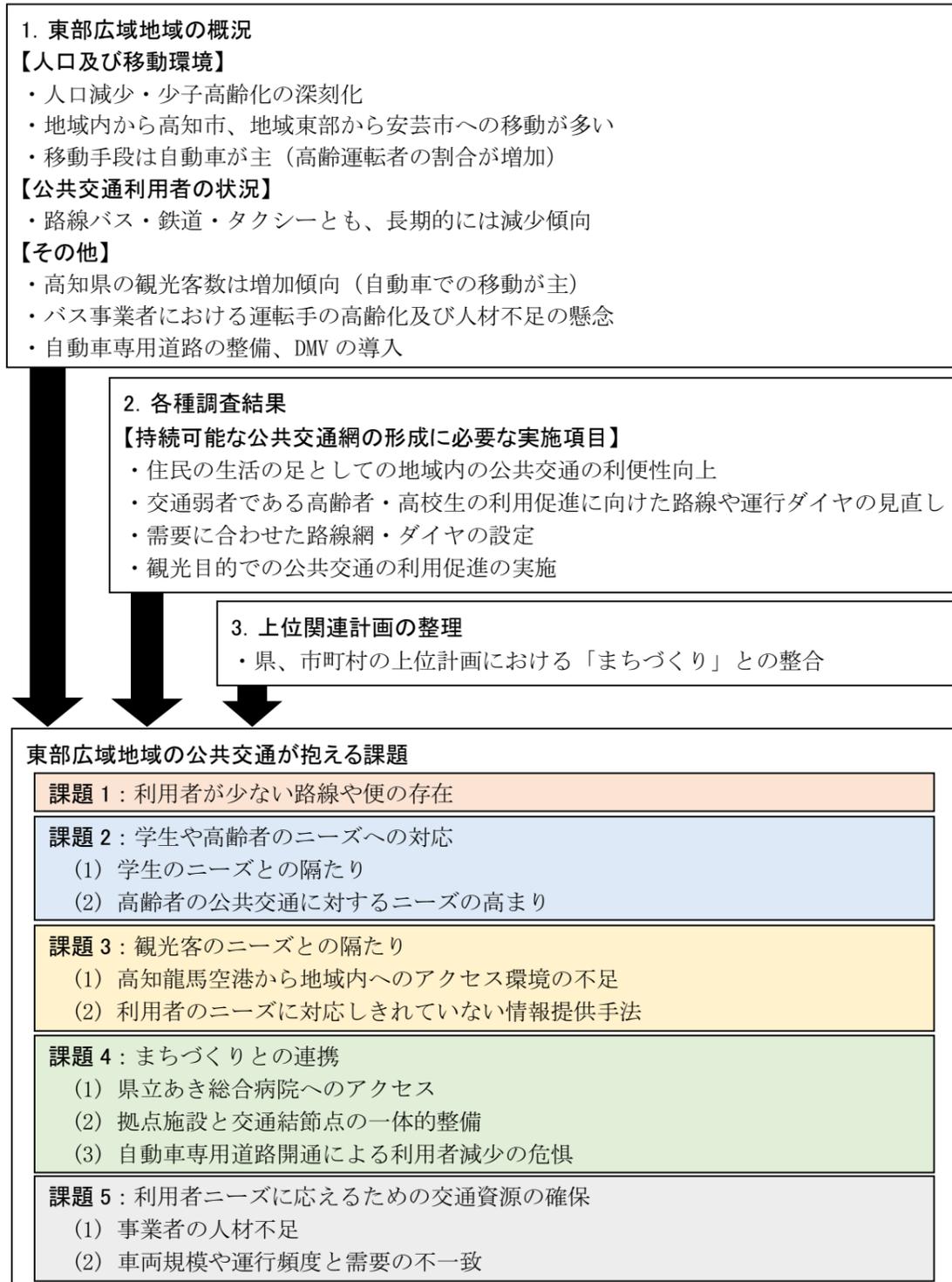
4. 高知県東部広域地域公共交通網形成計画の位置づけ

計画の位置づけは下記の通りである。



5. 地域の公共交通が抱える課題

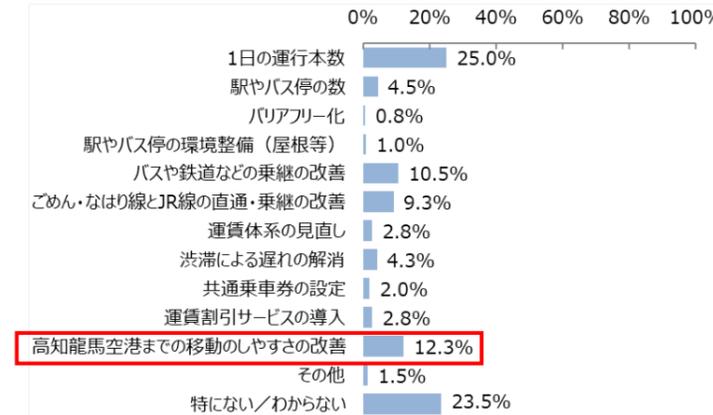
東部広域地域の現状分析を踏まえ、地域の公共交通が抱える課題として、以下の5つが挙げられる。



【公共交通の課題の例】高知龍馬空港から地域内へのアクセス環境の不足

南国市にある高知龍馬空港は、来訪者にとって東部広域地域への玄関口となるべき存在であるが、空港から定期運行を実施している公共交通機関は、地域外の高知市街地方面へ向かう空港連絡バスに限られている。地域内へ向かう公共交通機関として、のいち駅へ向かう事前予約性の乗合タクシーが存在するが、認知度が低く、来訪者からのアクセス向上の要望も多く存在する。空港から地域内へのアクセス環境を改善し、来訪者が地域内を訪れたいような環境とすることが求められる。

【公共交通に対する要望】（1つのみ、N=400）



【高知龍馬空港と後免駅やのいち駅を結ぶ定期運行バスがあれば、利用したいですか】（N=400）

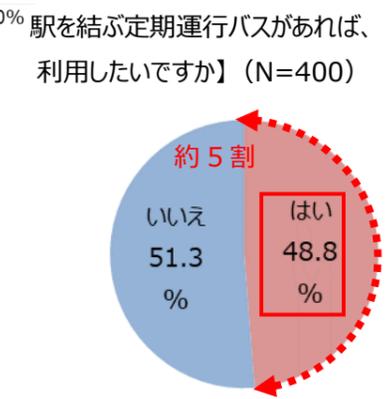


図 5-1 高知龍馬空港へのアクセス向上の要望（再掲：来訪者アンケート）

(N=144)

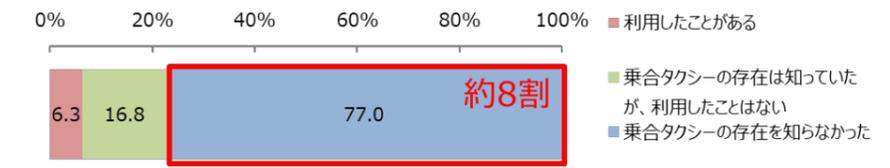
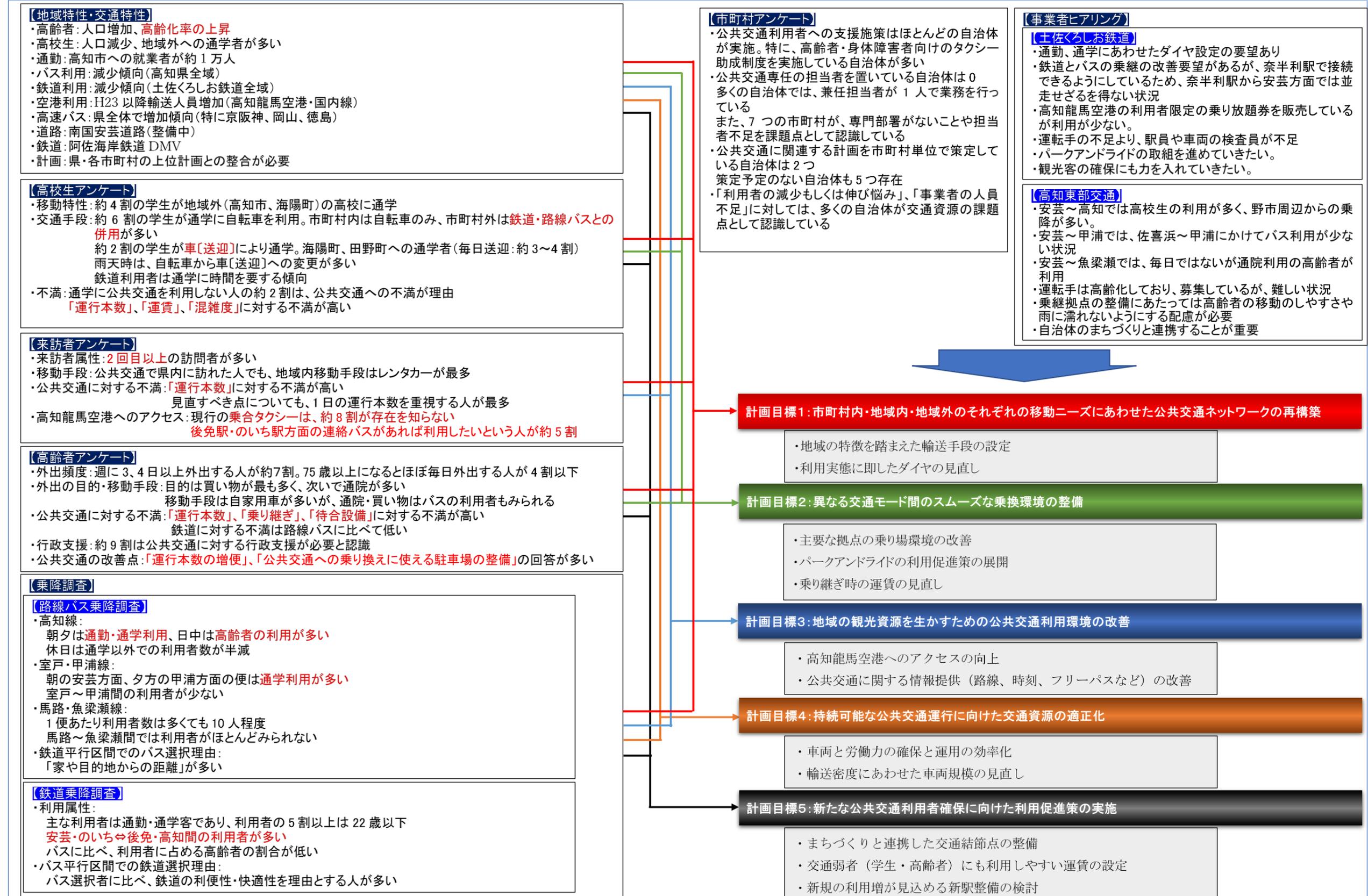


図 5-2 乗合タクシーの知名度（再掲：来訪者アンケート）

6. 計画目標

基本方針に基づき、公共交通の課題解決のため、5つの計画目標を定める。



7. 実施項目

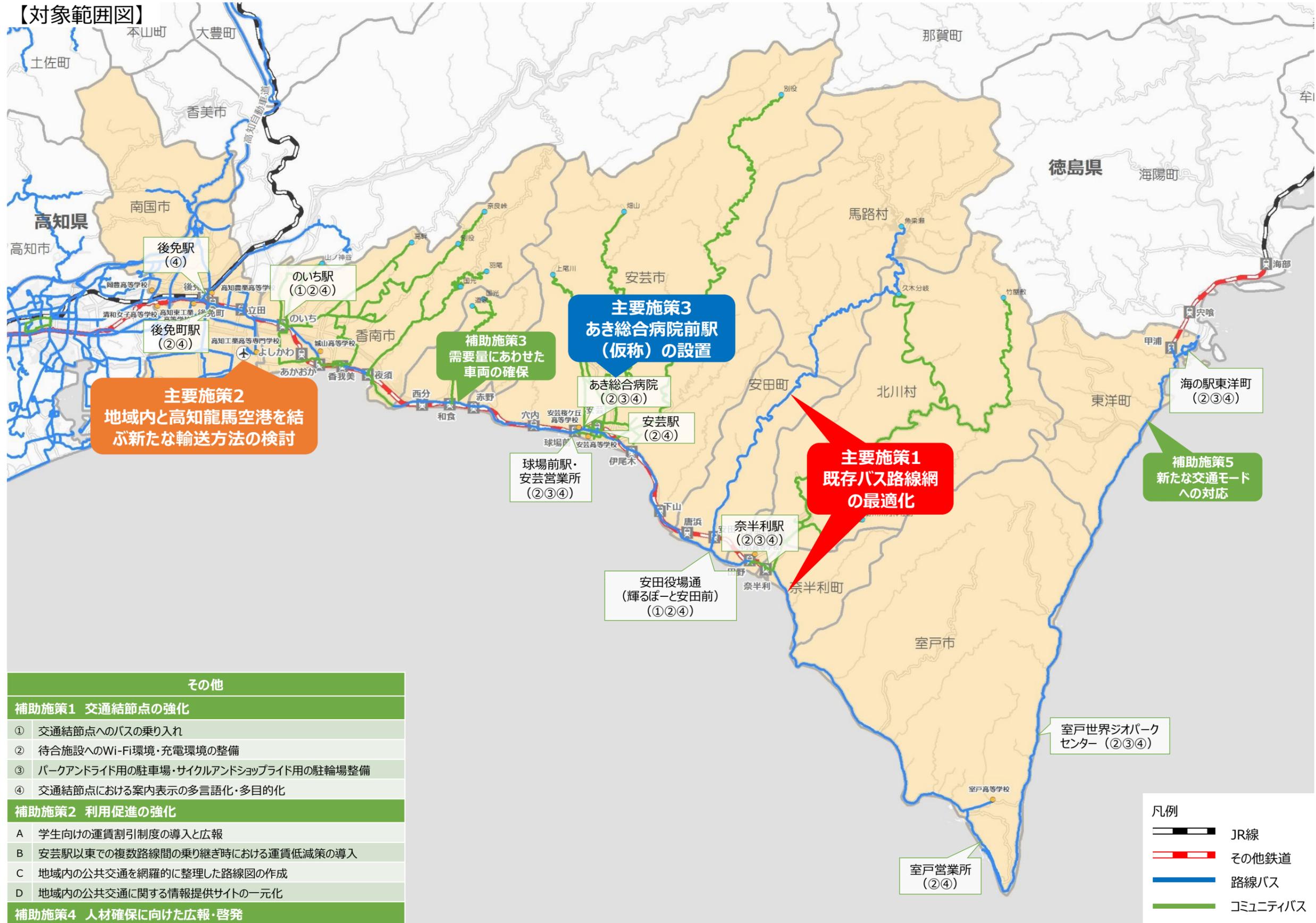
5つの計画目標の達成に向け、下表に示す3つの主要施策とそれを補助する5つの補助施策を実施する。

各実施項目については、記載する実施主体および関係機関が積極的に事業を推進するものとし、予定する実施時期を明記した。

計画目標	実施項目	実施主体（●）・関係機関（▲）														時期	
		高知県	室戸市	安芸市	南国市	香南市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	高知東部交通	土佐くろしお鉄道		その他
市町村内・地域内・地域外のそれぞれの移動ニーズにあわせた公共交通ネットワークの再構築 ・地域の特徴を踏まえた輸送手段の設定 ・利用実態に即したダイヤの見直し	既存バス路線網の最適化 (安芸～室戸～甲浦線、安芸～馬路～魚梁瀬線)	●	●	●			●	▲	●	●	▲	●	●				短～中期
	地域内と高知龍馬空港を結ぶ新たな輸送方法の検討	●			●	●							●		タクシー事業者		中～長期
	あき総合病院前駅（仮称）の設置	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			短～中期
異なる交通モード間のスムーズな乗換環境の整備 ・主要な拠点の乗り場環境の改善 ・パークアンドライドの利用促進策の展開 ・乗り継ぎ時の運賃の見直し																	
地域の観光資源を生かすための公共交通利用環境の改善 ・高知龍馬空港へのアクセスの向上 ・公共交通に関する情報提供（路線、時刻、フリーパスなど）の改善	交通結節点の強化 対象：室戸営業所（②④）、室戸世界ジオパークセンター（②③④）、安芸駅（②④）、あき総合病院（②③④）、球場前駅（②③④）、後免駅（④）、後免町駅（②④）、のいち駅（①②④）、海の駅東洋町（②③④）、奈半利駅（②③④）、輝るぼーと安田（①②④）																
	交通結節点へのバスの乗り入れ ^①	●				●				●			●				短～中期
	待合施設へのWi-Fi環境・充電環境の整備 ^②	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●			短～中期
	パークアンドライド用の駐車場・サイクルアンドショップライド用の駐輪場整備 ^③	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	●	●			短～中期
交通結節点における案内表示の多言語化・多目的化 ^④	●	●	●	●	●	●	●		●				●	●		短～中期	
持続可能な公共交通運行に向けた交通資源の適正化 ・車両と労働力の確保と運用の効率化 ・輸送密度にあわせた車両規模の見直し	利用促進の強化																
	学生向けの運賃割引制度の導入と広報	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			短期
	安芸駅以东での複数路線間の乗り継ぎ時における運賃低減策の導入	●												●	●		中期
	地域内の公共交通を網羅的に整理した路線図の作成	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	●	●			短期
地域内の公共交通に関する情報提供サイトの一元化	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			短期	
需要量にあわせた車両の確保	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			短～中期	
人材確保に向けた広報・啓発	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	●	●		短～長期	
新たな交通モードへの対応	●	●				●							▲		阿佐海岸鉄道	短～中期	

※計画期間5年間において、短期：計画策定後1～2年以内に実施するもの、中期：計画策定後3～4年で実施するもの、長期：計画策定後5年以内を目標に実施するもの

【対象範囲図】



8. 計画の達成状況の評価

計画の達成状況の評価項目を以下の通り設定する。

計画目標	評価指標	指標の内容	現状	目標値 (H36.3 時点)	備考 (指標数値の出典)
市町村内・地域内・地域外のそれぞれの移動ニーズにあわせた公共交通ネットワークの再構築	路線バスの1便あたり乗客数	路線バスの見直しの効果を把握するため、安芸～室戸～甲浦線および安芸～馬路～魚梁瀬線の1便あたり乗客数を指標とする。	安芸～室戸～甲浦線： 12.4人/便 安芸～馬路～魚梁瀬線： 3.4人/便 (平成30年度・平日)	安芸～室戸～甲浦線： 現状維持 安芸～馬路～魚梁瀬線： 5人/便以上	路線バス OD 調査
	15歳以上通勤・通学者の鉄道・乗合バス利用率	通勤・通学における公共交通の利用状況を把握するため、鉄道・乗合バス利用率を指標とする。	5.8% (平成22年度)	7.9%以上	国勢調査 (奈半利町実績値：徒歩のみの分担率が近い)
異なる交通モード間のスムーズな乗換環境の整備	新たな交通結節点・地域拠点へのバス路線の乗り入れ	本計画において設定する新たな交通拠点への路線の乗り入れ状況を把握するため、新規乗り入れ箇所数を指標とする。	—	2箇所	のいち駅、輝るぼーと安田
地域の観光資源を生かすための公共交通利用環境の改善	来訪者の地域内における公共交通利用率	来訪者に対する公共交通利用環境改善の取り組みの効果を把握するため、来訪者の公共交通利用率を把握する。	8.9% (平成27年度)	11.5%以上	県外観光客入込・動態調査 (平成20年度実績値)
持続可能な公共交通運行に向けた交通資源の適正化	ごめん・なはり線の朝ピーク時乗車率	需要にあわせた車両の導入に関する取り組みの効果を把握するため、ごめん・なはり線の朝ピーク時乗車率を指標とする。	99.2% (平成29年度)	93.6%以下	事業者調査 (平成29年度調査時の朝ピーク時乗車率第2位の便の実績値)
	交通事業者の新規採用数	事業者の人材確保に向けた取り組みの効果を把握するため、交通事業者の新規採用数を指標とする。	—	2名(土佐くろしお鉄道) 4名(高知東部交通)	現在の仕業を担う人数の1/8が5年間で定年となると想定
	新規車両導入数	需要にあわせた車両の導入に関する取り組みの実績を把握するため、新規車両導入数を指標とする。	—	1台(土佐くろしお鉄道)	
新たな公共交通利用者確保に向けた利用促進策の実施	ごめん・なはり線の1日あたり利用者数	あき総合病院前駅(仮称)設置等の効果を把握するため、ごめん・なはり線の平日・休日それぞれの利用者数を指標とする。	2,071人/日(平日) 1,800人/日(休日) (平成30年度)	平日2,270人/日以上 休日2,000人/日以上	鉄道 OD 調査 新駅設置効果推計の結果を 上乗せ